

豊後大野市公共交通活性化の取組



写真：平成28年11月8日実施 コミュニティバス利用促進事業「大人の社会見学」

大分県豊後大野市役所まちづくり推進課





豊後大野市の概況

- 位置 大分県南部（宮崎県と県境を成す奥豊後）
- 合併 平成17年3月 旧大野郡5町2村合併
- 面積 603.36 k m²
- 人口 36,584人（平成27年国勢調査結果）

平成25年 日本ジオパークに認定



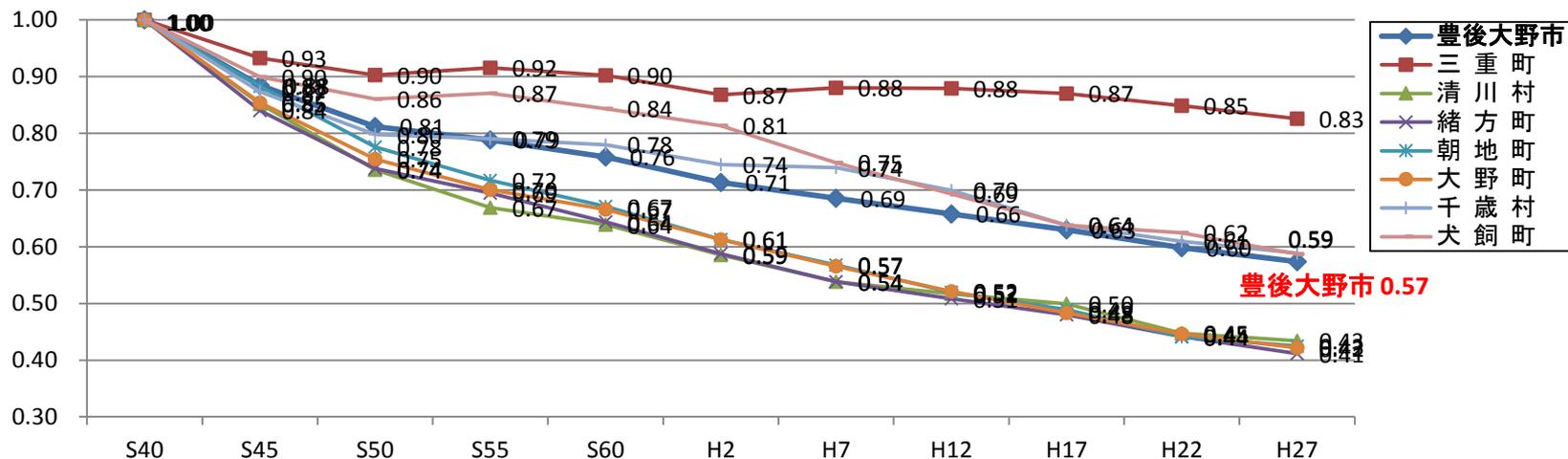
日本の滝百選「原尻の滝」





豊後大野市が抱える問題

- 人口減少 -



		S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27
実数 (人)	豊後大野市	65,943	58,312	53,513	51,975	50,011	47,034	45,191	43,371	41,548	39,452	37,832
	三重町	20,753	19,358	18,731	19,001	18,726	18,011	18,267	18,241	18,058	17,614	17,132
	清川村	4,877	4,154	3,589	3,261	3,117	2,856	2,625	2,521	2,436	2,182	2,116
	緒方町	12,881	10,819	9,504	8,949	8,294	7,565	6,935	6,546	6,180	5,687	5,299
	朝地町	6,601	5,827	5,122	4,732	4,429	4,044	3,748	3,431	3,228	2,910	2,806
	大野町	10,620	9,068	8,015	7,440	7,070	6,508	6,009	5,533	5,133	4,739	4,480
	千歳村	3,733	3,259	2,978	2,951	2,911	2,780	2,760	2,611	2,382	2,276	2,197
	犬飼町	6,478	5,827	5,574	5,641	5,464	5,270	4,847	4,488	4,131	4,044	3,802

※平成17年3月 旧大野郡5町2村合併

50年間で人口は4割以上減少 地域によっては6割も減少

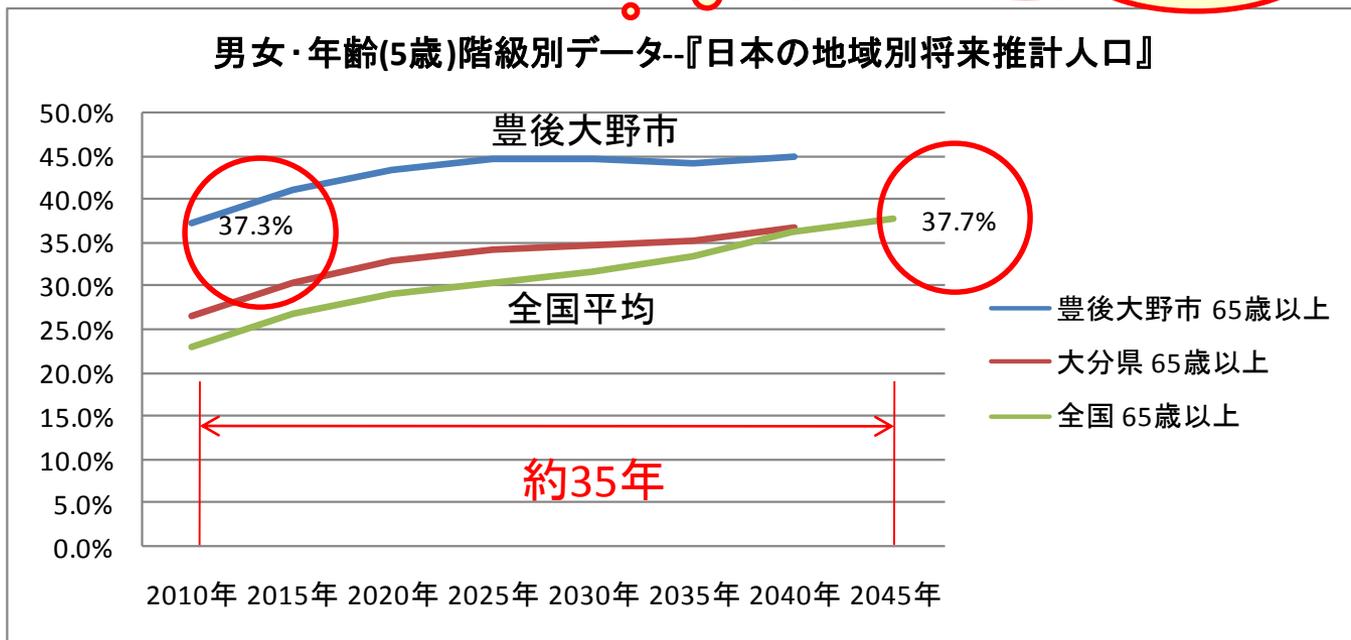


豊後大野市が抱える問題

- 高齢化 -

高齢化率 41.5%

※平成29年9月 住民基本台帳による



本市の高齢化の状況は日本の35年先を走っているといえる。全国の中でも特に進んだ過疎・高齢化社会に対応した交通弱者への対応は、本市にとって待ったなしの課題である。



豊後大野市コミュニティバス・あいのりタクシーの状況

コミュニティバス(78条市町村有償運送)

路線数 41路線(乗合型)
 車両数 20台(うち予備車2台)

うち、スクールバスと兼用 15台
 (混乗/11台 清川(2)、緒方(5)、朝地(4))
 (分乗/4台 大野(3)、千歳(1))



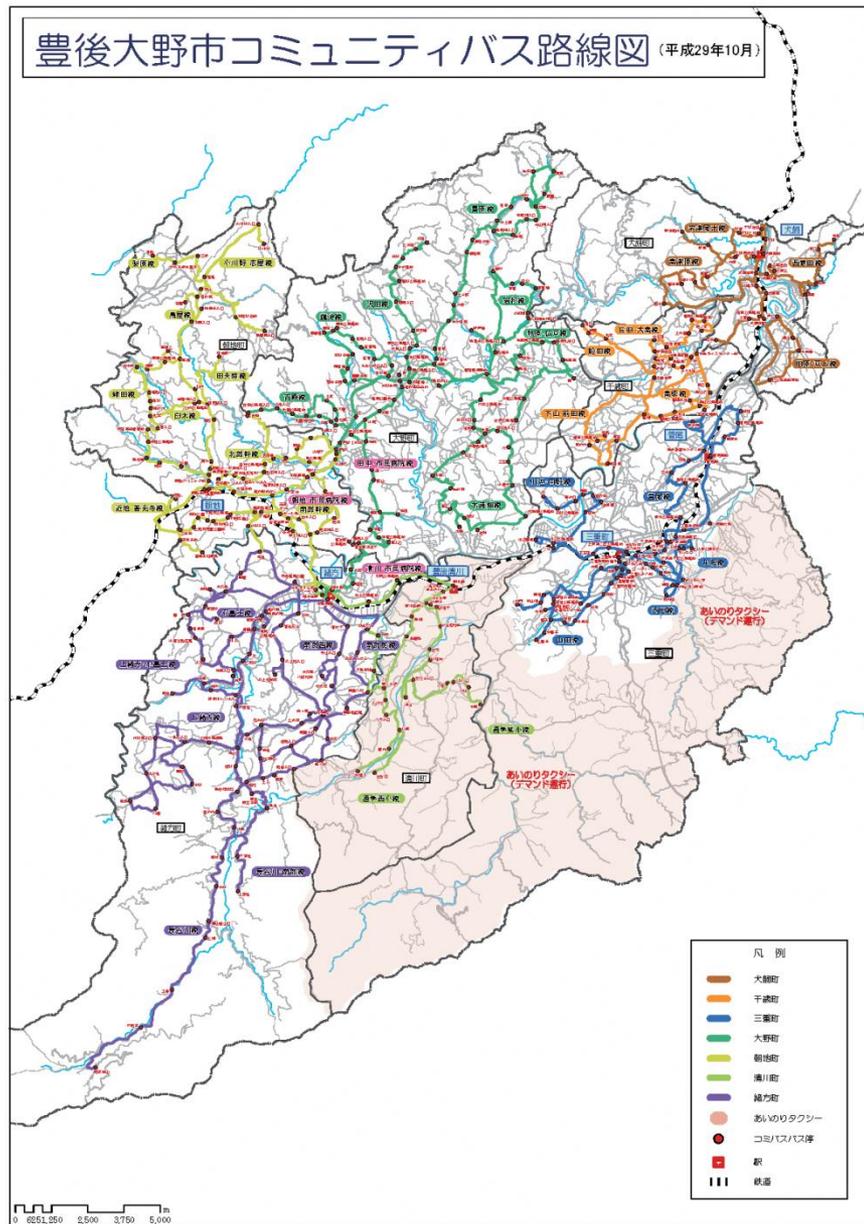
マイクロバスタイプ(乗車定員23人~29人) 11台
 ワゴンタイプ(乗車定員14~15人) 9台

あいのりタクシー(4条区域運行)

区域運行 5つの区域で運行(デマンド)
 車両はタクシー車両を使い運行



豊後大野市コミュニティバス路線図 (平成29年10月)





コミュニティバスの運行内容

41路線

バス停約450箇所

毎日運行 1路線 長谷川線 (平日・土日祝)・・・7便/日(片道)
 曜日指定運行(週5回) 清川:通学東線 (月～金) … 3便/日(片道)
 清川:通学西線 (月～金) … 3便/日(片道)
 清川:清川・市民病院線(月～金) … 3便/日(片道)
 朝地:朝地・市民病院線(月～金) … 6便/日(片道)
 大野:田中・市民病院線(月～金) … 6便/日(片道)

平日のみ運行 上緒方・小富士線(平日(祝日ダイヤ有))・8便/日(片道)
 上緒方線(平日) … 3便/日(循環)
 長谷川・南部線(平日・祝) … 4便/日(片道)

曜日指定運行(週4回) 三重:山田線 (月・火・木・金) ・3.5便/日(循環)

曜日指定運行(週2回)

三重 小坂線 (月・木)、菅尾線(月・木)、川辺・向野線(火・金)、内田線(火・金)
 緒方 小富士線(月・木)、南部西線(火・金)、南部東線(火・金)
 朝地 近地・普光寺線(月・木)
 大野 貫原線(月・木)、岩杉線(月・木)、古殿線(月・木)、藤浪線(月、木)、
 沢田線(火・金)、牧原・広戸線(火・金)、木浦畑線(火・金)
 犬飼 宇津尾木線(火・金)、高津原線(月・木)、西寒田線(火・金)、 田原・戸上線(月・木)

曜日指定運行(週1回)

朝地 鳥屋線、臼木線(月)、小川野・志屋線、綿田線(火)、北部幹線(水)、南部幹線、梨原線(木)、
 田夫時線(金)
 千歳 高柴線(月)、石田・大高線(火)、船田線(木)、下山・前田線(金)

大野竹田バス・豊後大野市タクシー協会に運行管理業務を委託

※運賃は小中学生は半額、障がい者の減免あり。緒方町の長谷緒井路土地改良区を跨ぐ区間、千歳町 平成大橋を跨ぐ区間は運賃300円



運賃は200円(※)

12/31～1/3は運休します

スクールバスとの混乗路線は8/6運休



コミュニティバスの利用状況

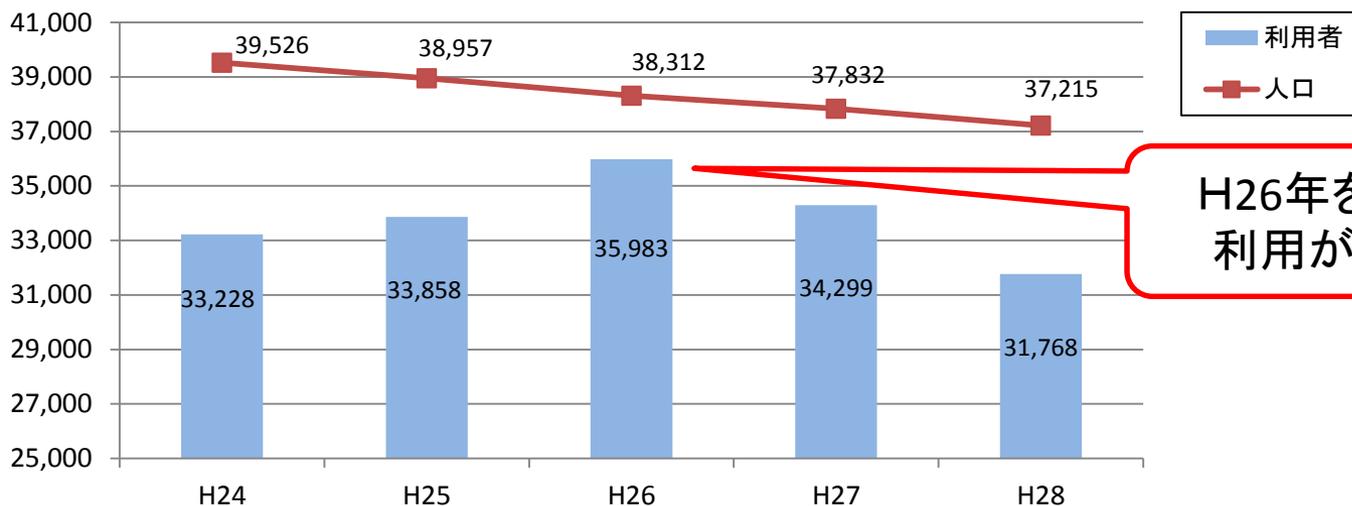
平成26年度 利用者数 35,983人(前年度比 6.3%増)
月平均 2,999人

平成27年度 利用者数 34,299人(前年度比 4.7%減)
月平均 2,858人

平成28年度 利用者数 31,768人(前年度比 7.4%減)
月平均 2,647人



人口とコミュニティバス利用者数の推移



H26年を境に
利用が減少

※「利用者数」は小中学生がスクールバスとして利用している人数を除いています。



あいのりタクシーの運行内容

料金

300円～600円

運行内容

4条 区域運行

運行区域

- 市内三重町中心部行き
3区域
- 市内清川町中心部行き
2区域

三重町中心部行き(0974-22-8822)

市街地方面行き出発時間

8:00～8:30

10:00～10:30

郊外方面行き出発時間

11:30～11:50

14:00～14:20

16:00～16:20

清川町中心部行き(0974-35-2655)

市街地方面行き出発時間

7:30～8:00

9:00～9:30

郊外方面行き出発時間

11:30～11:50

12:30～12:50

14:10～14:30

運行区域ごとに
週2日の運行



出発地から目的地まで乗車時間は30分以内となるよう配車

行き帰りともに事前の電話予約が必要です。
帰りの予約は行きの車内でも可能です。



あいのりタクシーのりば



乗降場所ではこのマークのそばでお待ち下さい

豊後大野市タクシー協会に運行業務を委託(コールセンター・配車計画込)
タクシー会社所有車両を使い「ドア・ツー・ドア」、利用者が一人でも運行



あいのりタクシーの利用状況

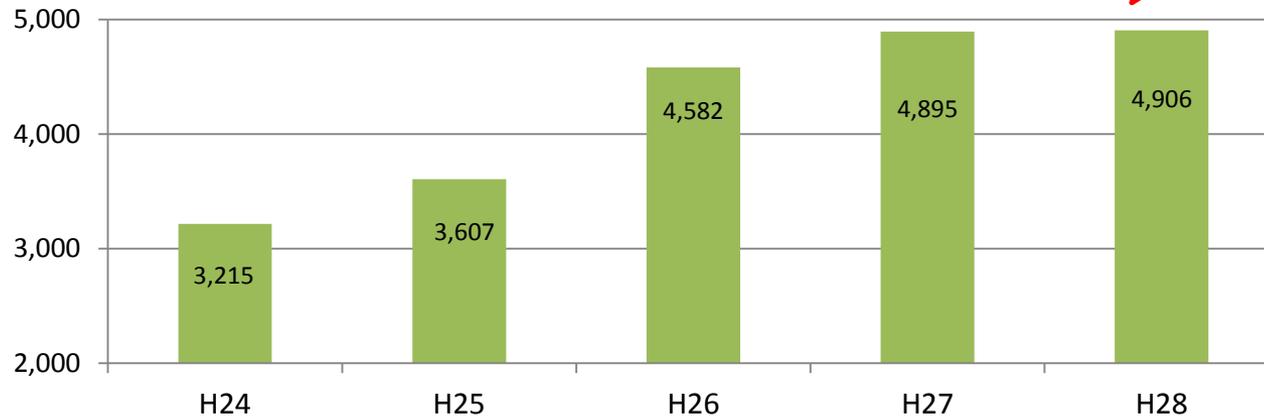
平成26年度 利用者数 4,582人(前年度比 27.0%増)
月平均利用者数 382人

平成27年度 利用者数 4,895人(前年度比 6.8%増)
月平均利用者数 408人

平成28年度 利用者数 4,906人(前年度比 0.2%増)
月平均利用者数 409人



あいのりタクシー利用者数の推移



利用は年々
増加傾向

※平成26年4月より三重町・清川町の一部地区で運行開始。



豊後大野市公共交通活性化の取組

現状把握と利用促進
の両輪で活性化を目指す

モニタリング調査
(運行状況の見える化)

- ◎モニタリング調査
 - ・路線別、バス停別状況調査（運行日毎）
 - ・利用者満足度調査（年1回）
 - ・乗り込みアンケート調査（適宜）
- ◎路線の再編（トリガー制度）

交通事業者の全面協力

- ◎モニタリング調査
 - ・路線別、バス停別状況調査（運行日毎）
⇒乗務員の方のご協力
- ◎日常的な対話による信頼関係の構築

利用促進
(大人の社会見学など)

- ・大学・高校と協働で、集落のお出かけを支援
⇒ 体験試乗会、お出かけの目的づくり
⇒ マスコミでの話題、公共交通利用の機運醸成

バス停コンテスト

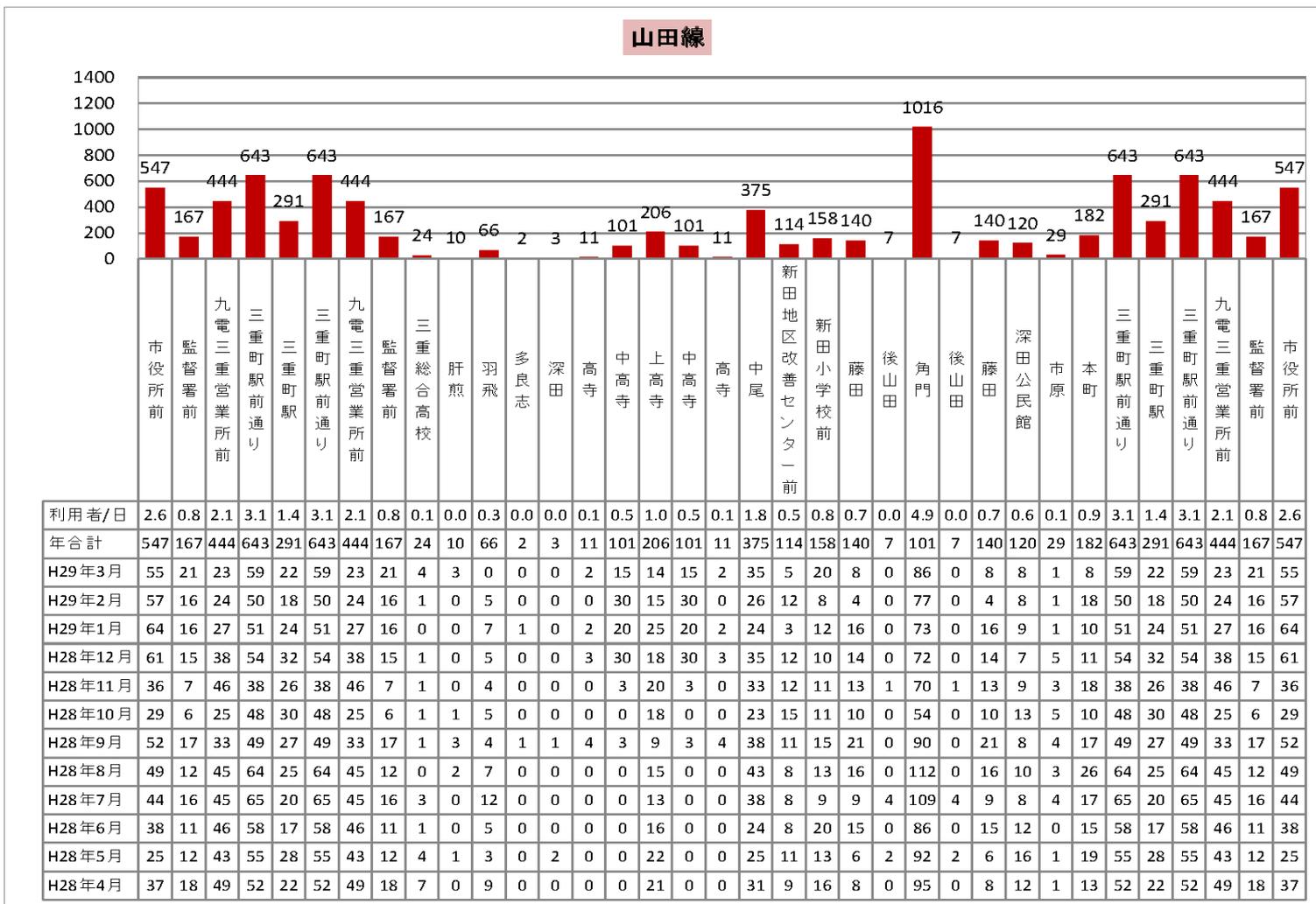
- ・バス停の維持管理に協力していただいた団体を表彰（利用促進効果）
- ・1年間で利用者が多かった停留所を表彰（モニタリング結果の有効活用）
- ・優良乗務員を表彰

住民意識の高揚



モニタリング調査（運行状況を見える化）

運行状況をデータ化 ⇒ 運行見直しを実施（トリガー制度）





トリガー制度の実施

トリガー制度(路線の廃止基準)を導入しており、利用者が少ない路線については、廃止も含めた公共交通の見直しを行う

<基準(抜粋)>

路線別・便別の1日あたり平均利用人数が
0.5人(2日に1人利用)以下の場合、見直しを検討

バス停別の1日あたり平均利用人数が
0.1人(10日に1人利用)以下の場合、見直しを検討

廃止が目的ではありません



利用促進策の実施に加え、利用しなければ不便になるといった危機感を醸成することで、地域と協働した公共交通の確保に向けた取り組みを進めています



「基準」をつくるにあたって

-豊後大野市はこう考えました-

＜豊後大野市トリガー制度の基準(抜粋)＞

路線別・便別の1日あたり平均利用人数が

0.5人(2日に1人利用)以下の場合、見直しを検討

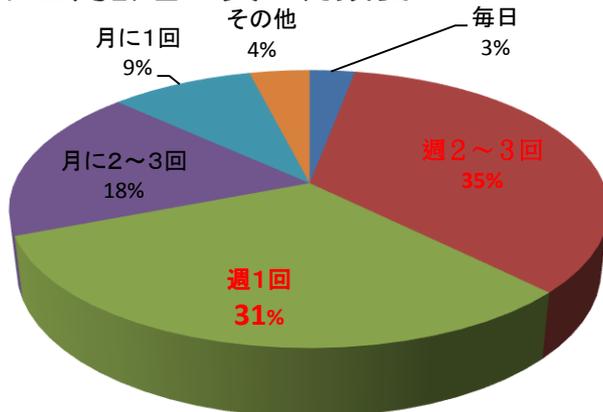
バス停別の1日あたり平均利用人数が

0.1人(10日に1人利用)以下の場合、見直しを検討

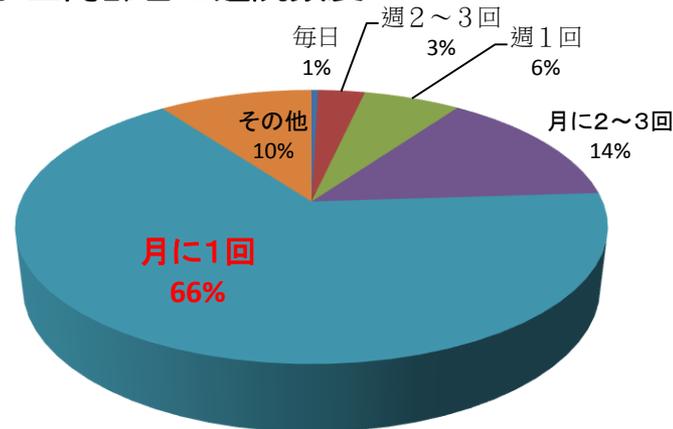
※ 「1日あたり」とは運行日あたり

理由1 … 高齢者の外出頻度から考慮(豊後大野市朝地町調査結果より)

75歳以上高齢者の買い物頻度



75歳以上高齢者の通院頻度



理由2 … 利用者がいないルートはやめるべき。

お客がいなくてぐるぐる連れまわされると疲れる。

(市コミュニティバス利用者アンケート調査結果から)



バス停コンテスト

利用者が多いバス停がある地域や、地域の事業者による屋根・ベンチなどの自主的な環境整備の取組みに対し、表彰を行う(平成24年～)

■利用者満足度が高いバス停

・利用者アンケートにより表彰

■年間利用者が多かったバス停

・モニタリング調査の結果により表彰

■優良乗務員表彰

・事業所の推薦により表彰



整備されたバス停



豊後大野市バス停コンテスト・優良乗務員表彰式 平成29年3月7日





利用促進に向けた取組

—これまで—

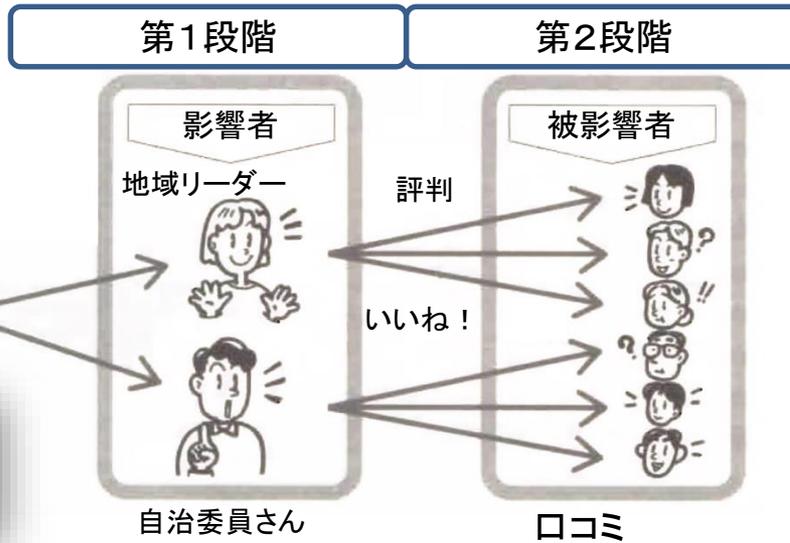
時刻表・マップの全戸配布



バスの
情報



車両のラッピング



みんな「コミバス(あいのりタクシー)は必要」だと理解してはいるが...

不便だから乗らない。
タクシーの予約が面倒。

九州運輸局2013シンポジウム(大井先生まとめ)より

常識をあえて見直してみる

- ・ 不便だから乗らない ⇒ 実は不安(知らない)からだった。
- ・ 「移動」を考えるのではなく「目的」を考える。

参考文献:「マーケティング」一橋出版



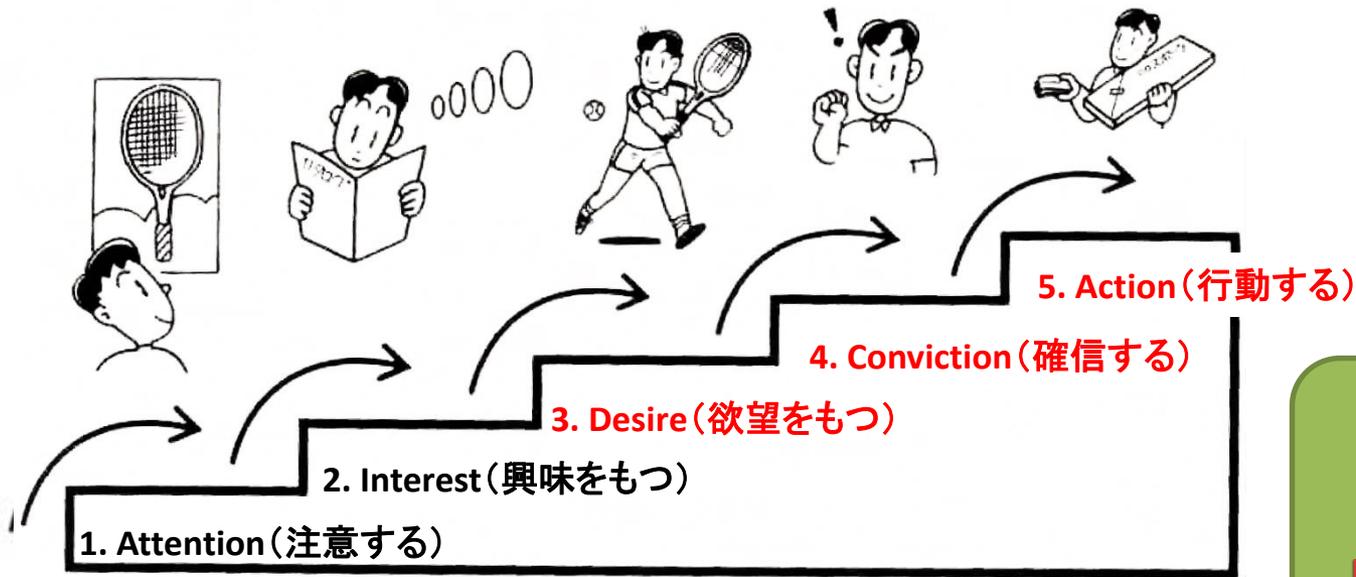
利用促進に向けた取組

—公共交通を活用した“おでかけ”を「プロモーション」—

※プロモーション

…販売の促進や増進を図って直接的・間接的に起こす各種の活動

—不安の解消—



お出かけの演出

「これはいい」という
確信をもってもらう



「公共交通を使った
おでかけ」のため
のきっかけづくり

「大人の社会見学」

—AIDCA (アイドカ) の法則—

見込み客が商品・サービスなどを購入・利用するに至るまでの心理の動きをあらわした法則

公共交通を活用した“おでかけ”きっかけづくり

「大人の社会見学」

事業のねらい：日々の生活に公共交通を

これまで3年間実施（平成26年～28年）

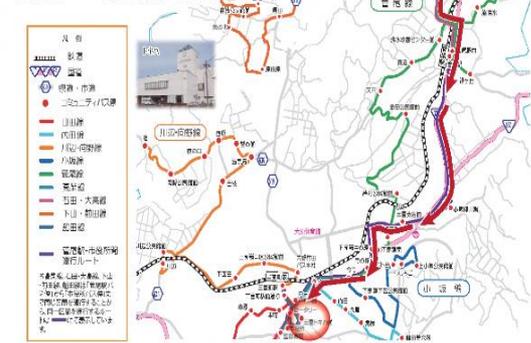
■参加者：各地区の高齢者 10～20名程度/年

■実施主体：豊後大野市、大分大学大井ゼミ
県立三重総合高等学校

9/30火 1日目<千歳・長峰地区> 募集人員 10名以内

- 09:57 千歳町長峰地区発(長峰原バス停出発)
コミュニティバスに乗って、出発!
大分大学の学生さんが付き添ってくれます。
- 10:33 市役所着
市役所内2階中央公民館へ移動
- プログラム①**
10:40 保健師による講話
「脳を老けさせないために大事なこと(仮)」(視聴覚室)
- プログラム②** (学生との交流企画)
11:30 食事づくり教室(みんなで昼食!) (調理室)
- プログラム③**
12:50 自由時間(トキハやマルミヤなどで買い物をお楽しみください)
13:42 お帰りにトキハご利用の方
(三重トキハ前バス停出発)
13:46 お帰りにマルミヤご利用の方
(三重町駅バス停出発)
13:58 お帰りに新鮮市場ご利用の方
(小坂柳川瀬バス停出発)
中窓から病院や商業施設など、沿線にある当日紹介のあった施設などをご覧ください。(次からは、バスでこれらの施設をご利用ください!)

14:17 コミュニティバス自宅周辺着
(長峰原バス停到着)
※ご自宅まで学生との会話(取材)可能な方は、是月ご協力ください。
参加費：600円(回数券2枚分)



10/1水 2日目<朝地・栗林・綿田地区他> 募集人員 15名以内

- 08:00頃 朝地町栗林・綿田地区発(各地区の公民館等より出発予定)
ジャンボタクシー(臨時便)に相乗りして出発!
朝地支所でコミュニティバスに乗り継ぎます。
- 08:50 朝地支所発
コミュニティバスに乗って、出発!
大分大学の学生さんが付き添ってくれます。
- 09:20 市民病院着
市民病院内会議室へ移動
- プログラム①**
09:30 院長ミニ講話、市民病院施設見学
- プログラム②** (学生との交流企画)
10:45 グラウンドゴルフ大会(豊村公園) & みんなで昼食!(はじこ広場)
※雨の時は室内でレクリエーション企画(予定)
- プログラム③**
12:50 自由時間(フレインやAコープなどで買い物をお楽しみください)

13:31 お帰りに(雑支所バス停)出発
中窓から病院や商業施設など、沿線にある当日紹介のあった施設などをご覧ください。(次からは、バスでこれらの施設をご利用ください!)

14:00 コミュニティバス朝地支所着
朝地支所でコミュニティバスからジャンボタクシーに乗り換え

14:30頃 タクシー自宅周辺着(栗林・綿田地区到着)
※ご自宅まで学生との会話(取材)可能な方は、是非ご協力ください。
参加費：400円(回数券2枚分)



10/20金 <朝地・雑方> 参加者 25名(予定)

- 9:00 小川町発→9:35 日田町(雑方公民館)・三重町
- 9:35 安楽荘→9:39 日田町(雑方公民館)
- 9:40 朝地(道の駅)の駅舎まで(にて社会実験の開始)
- 10:00 朝地支所(雑方)・市民病院
- プログラム①**
オリエンテーション
バス(16名)と11台ずつのタクシー(9台)を
組み合わせてスタート
- 10:17 市民病院着
- 10:30 朝地支所(雑方)の駅舎へお集り
- プログラム②**
10:50 雑方(レイン・Aコープ)でゲームを体験していただきます。
- プログラム③**
11:20 雑方公民館で講話
- プログラム④**
12:20 買い物をお楽しみします
(フレイン、Aコープ)
- 13:31 雑支所(雑方)→13:47 朝地(雑方)
- 14:00 朝地(雑方)→14:17 雑支所(雑方)
- 14:00 朝地(雑方)→14:35 小川町
- 15:00 自宅周辺到着
- 16:30 終了予定



11/8火 <清川・雑方> 参加者 10～20名程度(予定)

- 前日(11/7)に清川のタクシー予約の電話(0974-35-2655)をお願いいたします。
- 9:00頃 清川町(各営業所)集合(雑方、朝地公民館)
清川のタクシー(1台)に集まって、出発!
大分大学・三重高校の学生さんが付き添ってくれます。
※ジャンボタクシー2台を指定(必要に応じて追加)
- 9:30頃 道の駅まよわね
道の駅まよわね
道の駅まよわね(コミュニティバス)で雑方へ移動
- 10:30 雑方(雑方)の健康講話(雑方支所3F大会室)
- 11時過ぎ フレイン・Aコープでお買い物
- 12:01 雑方公民館
道の駅まよわね(コミュニティバス)で清川へ移動
雑方公民館へ移動
- プログラム①**
12:20～14:00 雑方(雑方)のレクリエーション企画
12:20～13:00 雑方
13:00～14:00 レクリエーション企画(3つまで)
- 14:30 道の駅まよわね
清川のタクシー(各営業所)に各自へ
- 14:40 清川町(各営業所)到着
- 15:00 自宅周辺到着
- 16:30 終了予定



公共交通を活用した“おでかけ”きっかけづくり

「大人の社会見学」

事業のねらい：日々の生活に公共交通を

これまで3年間実施（平成26年～28年）

- 参加者：各地区の高齢者 10～20名程度/年
- 実施主体：豊後大野市、大分大学大井ゼミ
県立三重総合高等学校

<平成26年度>



<平成27年度>



<平成28年度>



将来を見すえた公共交通を考えるにあたって…

① 大分県の計画(豊肥圏の網形成計画)と連携した計画策定(広域的視点)

- ・ 大分県のブロック単位での計画との整合 ⇒ 広域的視点での計画(自治体をまたぐ路線など)
- ・ 幹線と枝線の交通ネットワークの維持
- ・ 乗継拠点の整備(道の駅おおの、道の駅あさじ)

② モニタリングの継続

- ・ 利用状況のデータ化を地道に継続 ⇒ 路線の見える化 ⇒ 運行の見直し方針を検討
- ・ データによる説得力 ⇒ 運行水準の向上・低減両方にも使える

③ 利用促進の継続

- ・ 「大人の社会見学」の継続的取り組み ⇒ いろいろな地域での実践を通じた利用の広がり・深まり

④ きめ細かな対応

- ・ 集落からの要望に応じて、ルートやダイヤ、バス停設置などをきめ細かく対応
- ・ 地域と一緒に考えて、公共交通のあり方を検討していく姿勢

⑤ これからの新たな取り組み

- ・ 重複する交通資源の有効活用 ~ 病院バス、スクールバス、福祉バス 等々
- ・ 福祉部局との連携 → 包括支援センターとの協働(予定)、高齢者への利用呼びかけ、乗合のコーディネート
- ・ 運行内容の見直しを継続して行う(P・D・C・A) ⇒ 記憶され、親しまれる ⇒ イメージアップ

「担当者の思い・考え」を継承していく



豊後大野市公共交通の取組の成果

交通で地域の「縁」をつなぐ

- ・まちに出かけることが楽しい。バス友が出来た(利用者)
- ・バスの中で新たなコミュニティができている。
バスの中が賑やかで楽しい(利用者、乗務員)
- ・公共交通を積極的に利用しようという動きが出来た。(利用者)
- ・タクシー業界に昔の活気が戻った。(あいのりタクシー委託事業者(事務員、乗務員))
- ・どうしたら便利になるか交通事業に関わる関係者が考えるきっかけづくりになっている。 … **バスの乗務員は「キーマン」!**

公共交通を共に守り育てていく機運をさらに高めていく!!

これからも地域の皆さんの声により耳を傾け、コミュニティ
(地域社会)の活性化と愛される公共交通を目指します

ご清聴ありがとうございました

